



about Australia

デザインと発明・発見

- オーストラリアの斬新なデザインといえば、投げれば持ち主のもとへ帰って来るエアロダイナミックな木の武器とユニークな楽器で、両方とも何千年も前に土着のオーストラリア人が開発したものです。今日、オーストラリア人デザイナーたちは、ファッションから建築、産業からジュエリーまで幅広い分野で活躍しています。

オーストラリアの先住民は、アボリジニとトレス海峡島しょ民で、4万年前にやってきたといわれています。独自のユニークな信仰と大地への崇敬と豊かで多様な文化をもつ人々でした。

彼らはまた、オーストラリア最初のデザイナーでもありました。うまく投げればカーブのかかった軌跡で飛んで持ち主のところへ帰って来るという、特殊な形の飛び道具であるブーメランを開発したのです。ブーメランは、さまざまな形と大きさで作られ、狩猟のための武器として、またときにはレクリエーションのための遊び道具として使われていました。

オーストラリアの先住民はまた、世界最古の楽器であるという説もあるディジュリドゥーを創造しました。約1.5メートルの長さの木の枝をくりぬいたものから作られたこの楽器は、唇をふるわせながら吹くと、耳に深く心地良い音を出します。

他にも、ウーメラという、槍をより強く、より遠く投げられるように工夫された投擲用ホルダーや、世界最初の石器類があります。

オーストラリアの先住民は、世界で一番古く、今も続いている芸術の伝統をもち、オーストラリアの内外で賞賛を受けています。現代のオーストラリアのデザインは、土着の芸術やデザインを讃えるものや、また約200ヶ国から650万人以上の移民を包み込む文化的に多様なこの国の社会を写し出しているものが多くあります。

最近のオーストラリアのデザインは、斬新で、コスト効果が高く、環境にやさしいデザインを求めるグロ

重要な事実

- オーストラリア先住民は最初のデザイナー
- 現在、オーストラリアには350社の産業デザイン会社があると推定されている
- 50,000社にのぼるオーストラリアの会社が、美術、広告、建築に関連したビジネスを展開

ーバルな市場のニーズに応えうる新鮮なスタイルが特徴です。現代のデザイナーには、建築家やインテリアデザイナー、グラフィックデザイナー、ウェブデザイナー、ジュエリーデザイナー、産業デザイナー、ファッションデザイナー、家具デザイン、テキスタイルのアーティストなどが含まれます。

オーストラリアの大学や専門学校から何千人もデザイナーが卒業しており、デザインスタジオは、オーストラリアのサービス業界の中でも活発な部門になっています。オーストラリアデザイン研究所は、オーストラリア国内に現在約350のデザイン会社があり、1900名ほどのデザイナーが活躍していると推定しています。

オーストラリア統計局によると、約50,000社が、デザイン産業に携わっているといわれ、商業芸術デザイン、広告デザイン、そして建築デザインの三大デザイン部門に関わっているといわれています。

建築、産業デザイン、ファッション、ジュエリー、グラフィック

イックデザインなどの業界の協会は、各分野の優秀なデザインを表彰する賞を設けているところが多く、オーストラリアデザインの質の高さを表しています。

建築

オーストラリアの建築家は、国際的に高い人気があります。ロイヤル・オーストラリアン建築家協会は、オーストラリア人建築家 1400 人が海外で仕事をしており、そのほとんどがアジアで、その半分が香港とマレーシア、そして中近東に在住していると推定しています。

建築計画、研究所や政府機関などのビル、医学施設、スポーツ施設、高層住宅など、さまざまな建設プロジェクトにわたって、オーストラリアのデザイナーや建築家の、斬新でかつ環境に優しいデザインが、国際的な注目を集めています。

近年、オーストラリアのデザイナーは、環境にやさしいデザインや仕事を評価する「グリーン・スター」格付けシステムのもと、健康に良い建物を建てることに力を注いでいます。省エネ度や水の効率、建物内部の環境の質、そして資源保護が評価の基準となります。

2006 年にメルボルンでオープンした、オーストラリアでもっとも環境にやさしく健康的な特注事務所ビル、カウンスル・ハウス 2 (CH₂) は、将来の環境にやさしい高層ビル建設のすべての目標となる新しい水準 (6 ヶ星) をうち立てました。国連賞を受賞したこのビジョン豊かなビルが、環境に配慮したデザインに対する世界中のアプローチのしかたを永久的に変えてしまう可能性をもっています。CH₂ は、10 階建てのビルに考えられる限りのあらゆる部分に環境に配慮した技術が盛り込まれています。

熱帯の気候や歴史、立地、民族性などに応じて開発された、熱帯気候向けの住宅や木造倉庫、ビーチハウスなどの様式に「クイーンズランダー」というものがありますが、これもひと目でそれとわかるオーストラリア特有の建築様式です。特徴は、トタンに加えて地元産の材料を使い、空間と日光と周辺の景観につながりを持つデザインです。グレン・マーコットは、2002 年にプリツカー賞 (「建築業界のノーベル賞」といわれています) を受賞していますが、地元産の材料を使って環境に配慮した住居デザ

インは、オーストラリア建築の優れた一例です。

オーストラリアには、世界でも珍しく素晴らしい建物があります。国際的にオーストラリアの象徴として認められている建物には、シドニーオペラハウス (デンマーク人建築家ヨーン・ウツソン設計) や、キャンベラの国会議事堂 (オーストラリア人建築家ロマルド・ジオゴラ設計) があります。ハリー・サイドラーは、シドニーにあるオーストラリア・スクエア・タワー、MLC センター、パリのオーストラリア大使館など、斬新なコンクリート建築技術を駆使した特徴ある建物を数多く設計しました。

1973 年竣工のシドニーオペラハウスは、二方向に歪曲している屋根にかかる荷重と歪力をコンピューターで計算するという最先端技術を使い、屋根をコンクリートで建設する方法を開発するなど、革新的な建築技術が結合しています。

産業デザイン

切り株やその他の障害物があっても、刃を壊さずに乗り越えるよう設計された「スタンプジャンププラウ」という鋤 (すき) の創造から、オーストラリアは実用的な産業デザインの発明ではしっかりした実績をもっています。

1958 年の賞創設以来、オーストラリアン・デザイン賞は、手で上下の調節ができる回転式物干「ヒルズホイスト」をはじめ、刃がディスク状になった 2 サイクルエンジンで軽量のヴィクタ芝刈り機、コクリア・インプラントという埋め込み式人工内耳など、オーストラリアを代表する有名なデザインを表彰してきました。

他にもオーストラリアの卓越したデザインに、「ブラックボックス」飛行記録機、超音波スキャナー、世界初のナノ機械、そして昆虫から採取されるタンパク質から作られ、ゴムに代わるレジリンがあります。

2007 年には、オーストラリアン・インターナショナル・デザイン賞として知られるこの賞に、200 以上の斬新なデザインの作品が出品されました。最終選考対象作品および各賞受賞作品には、簡易小便器や洗濯バサミなどの日用品の新デザインから、メラノマを検出する高度なスキャナーまで、広い範囲にわたっていました。クレバーペグという洗濯バサ

ミは、両端ではさんで、洗濯物を上下の層にして干せるようにしたものです。カロマH₂ゼロという水なしの簡易小便器は、オーストラリアン・インターナショナル・デザイン賞及び環境を保護し資源を利用することをコンセプトにしたサステナブル・デザイン優秀賞も受賞しました。

メラノマ検出器ソーラースキャンは、パワーハウス博物館デザイン賞を授与されました。これは疑いのある病変皮膚組織の映像をとらえるために、手動の機器にとりつけた高画質のデジタルカメラを使用しています。2007年度オーストラリアン・インターナショナル・デザイン賞年間最優秀賞は、リチウムイオンを原動力とし、ハンドル部分に取り付けられたキーパッドで操作する発光ダイオード(LED)の自転車用ランプに決まりました。

オーストラリアン・インターナショナル・デザイン賞は、1991年からオーストラリア規格協会が運営しており、国内外で自国のデザインと発明を促進しようというオーストラリア政府の積極的方針が伺えます。

インテリアデザインと家具

1950年代から、オーストラリアのデザイナー、グラント&メアリー・フェザーソンは、第二次世界大戦前のぶかぶかの大きなソファに代わる新タイプの椅子で成功していました。今ではすっかり有名になった曲線形の椅子は、今でもリビングやデザインショップ、美術館などで見ることができます。

今もオーストラリア人は、あっと驚くインテリアデザインや家具を創作し、国際的な成功をおさめています。マーク・ニューソンは、自然環境にみられる流体形をとり入れたカラフルな家具とインテリアでヨーロッパのデザイン市場における地位を確立しました。

オーストラリアの家具とインテリアデザイナーは、その業界の一流デザインコンクールで何度も最終候補者に選ばれています。スキャヴェロ・オブ・メルボルンは、世界銀行の家具調度を調達するという大仕事を受け、オーストラリアに基盤をもつニュージーランドの会社フォームウエーは、世界で最も大きいオーダー家具の見本市、シカゴのネオコンで二度にわたって金賞を受賞しました(1999年と2002年)。

オーストラリアデザイン研究所が主宰する年間イン

テリアデザイン賞は、優秀な商業用・住居用デザインを表彰し、奨励しています。

ファッションとテキスタイル

オーストラリアのファッションは、活気あふれる明るいスタイルと鮮やかでカラフルな色とのミックスが特徴です。国際的な注目を集めているオーストラリアのデザイナーには、印象的な異文化の融合で有名なアキラ・イソガワや、ナオミ・ワッツ、ヘレナ・クリステンセン、シャーリーズ・セロンなど著名なファンを持ち、世界で活躍を続けているコレット・ディニガンなどがいます。

新世代のデザイナーたちは、オーストラリアのビーチ文化、落書き、芸術、音楽などからインスピレーションを得てユニークなスタイルのセンスを創り出しています。マンボ(1984年創立)などの大胆なブランドは、ぱっと目につくビーチウェアやその他のデザインをプロデュースするために、グラフィックアーティストや、ビジュアルアーティストを活用しています。

オーストラリアのファッションメーカーは、手染めやプリント地、絵付の絹から、薄手のウールや、先住民の伝統芸術をもとにしたデザインなど、さまざまなファッション用の布地を使います。メアリー・シャックマンの大胆かつ鮮やかなデザイン布地やプリント地は、オーストラリアで最も有名なファッションデザイナー達に使われています。1980年代から、先住民の布地、なかでも特に中央オーストラリアにあるアーナベラとユートピアというコミュニティのコットンとシルクのバティック、ティウイ族のアーティスト達によるスクリーンプリント生地、西オーストラリアの砂漠のデザインなどへの人気は高まる一方です。ジェニー・キー、リンダ・ジャクソン、ケイティー・パイなどのデザイナー達が、先住民の布地への人気を促進させました。

優秀なファッションは、オーストラリアン・ファッション・ウィークや、全国小売業会のオーストラリアン・ファッション・デザイン賞 & フェスティバル、そしてオーストラリアン・ウール・ファッション賞などの名高い各賞で表彰されます。

ジュエリー

1968年にオーストラリアジュエリー協会によって創

設され、2年に1度開催されるオーストラリアン・ジュエリー・デザイン賞は、優れたデザインと職人技を表彰するものです。出展作品は、オーストラリアの貴金属または天然の宝石用原石、真珠、オパールを主に使って作られたものです。

グラフィックデザイン

オーストラリアのグラフィックデザイン業界も元気に活躍しています。優秀なデザイナーには、オーストラリアン・グラフィックデザイン協会が主催する2年に1

度の賞が授与されます。2006年の賞では、221部門に2700点以上が出品されました。

最も華々しい成功を収めたオーストラリアの初期のデザイナーの1人は、ケン・カトーで、オブジェやインテリア、景色などを通じて、コンセプトやブランドをパワフルに表現できる有能なグラフィックデザイナーとして、1970年代から国際的な評価を築き上げました。オーストラリア国産品のロゴやカンタス航空のロゴなど覚えやすいグラフィックデザイン誕生の背景には、ケン・カトーのデザインへの貢献がありました。

Last updated April 2008

Satellite imagery © Commonwealth of Australia, Geoscience Australia, ACRES.

Western Australia coastline.

